

機能低下の間接民主主義（代議制）を直接民主主義（「野生のデモクラシー」）はどこまで撃てるか。

～以下、対談「東アジア外交と安全保障」（土佐弘之神戸大教授・山室信一京大教授）＜朝日新聞／12(H24).12.19＞より抜粋～

（青太字は引用者によるものです）。

（司会）衆議院選の結果、自民党中心の政権に交代します。

土佐 原発の再稼働や沖縄問題、集団的自衛権の行使をめぐる議論で、日本の重要事項の決定は米国の意向が大きな力を持つことが明らかになりました。自民党中心の政権下では、それが民主党以上に鮮明になるでしょう。大量の死票が出て**民意が反映されない現実**が今回の衆院選でも明らかになり、政権交代だけでなく、政党そのものへの失望感が再び深まる可能性は高い。**自分たちのことが自分たちで決められないといういら立ちから、日本でも街頭で主張を訴える人たちが増えてきました。そうした「野生のデモクラシー」がどんどん表に出てくる**のではないのでしょうか。